

平成30年度 事業報告

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター

平成30年度 事業報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター（以下、「センター」という。）は、平成26年1月23日に鳥取県と県下19の市町村の拠出により一般財団法人として設立以来、5年が経過した。

ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動を総合的に支援し、企業、行政、大学、自治組織など多様な主体との連携により、トトリズム県民運動を推進し、地方創生、震災復興、持続可能な地域社会をつくっていくというセンターの目的及びアクションプランにもとづき、以下の活動をすすめてきた。

※NPO法人…特定非営利活動促進法に基づき、県等の認証を受けている「特定非営利活動法人」

NPO……法人格の有無を問わず、非営利で公益を目的とした活動を行う民間の団体

NPO等……NPO法人、ボランティア団体、地域づくり団体、公益法人、社会福祉法人、地縁組織等法人格の有無に関わらず非営利活動を行っている民間の団体、企業及びこれから新たに活動をしようとする団体

※事業名の後に、補助、委託、自主等の事業の性格が【 】で記載されていない場合は、県参画協働課の委託業務「県民活動活性化事業」による。

＜平成30年度事業全体の成果＞

1. 東・中・西部の拠点で、多様なアプローチによる相談活動をすすめ、支援対象や内容が広がってきた。

東・中・西部に「とっとり創生支援センター」を設置し、東・西部にも職員を配置して4年、さらに「震災復興活動支援センター」を設置して2年、活動団体や県民の方々から、事務所だけでなく出張・出前により、年間300件を超える相談をセンター職員が受け、対応してきた。また、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門家や社会人・若者ボランティア（プロボノ）の参加による個別支援、活動団体や地域のネットワーク活動に寄り添いながら行う伴走型支援など、多様なアプローチによる相談活動をすすめた。

また、相談対象もNPO法人だけでなく、一般社団法人、地域運営組織、自治会、市町村等に広がり、NPO法人の事務力やガバナンスに関すること、地域運営組織の法人化や事業化など、多岐にわたっている。

2. より現場に近い地域（市町村域）における活動団体の交流機会や、若者の地域づくり活動への参画機会をつくってきた。

トトリズム県民運動の一環として、活動団体が集まって課題を設定し、ネットワークで事業をすすめる「ととりの元気づくりプロジェクト」が、東・中・西部で自律的にすすめられるようになった。

市町村単位で活動団体同士が集い、NPO、地域運営組織等と行政がつながり、情報共有、意見交換をしよう「地域づくり（NPO）交流会」を、平成29年度とあわせて8市町（鳥取市青谷町、岩美町、智頭町、倉吉市、北栄町、境港市、南部町、江府町）に広げることができた。また、地域づくり活動体験ツアーやワークショップ等、高校生や大学生が参画できる機会をつくってきた。

3. 人材や資金を活動団体に循環させるしくみの活用がすすんだ。

社会人・若者ボランティア（プロボノ）事業、寄付つき商品普及開発事業「お買い物チャリティー」「カンパイチャリティー」、クラウドファンディング「FAAVO鳥取」運営事業、ごうぎん地域おこし型私募債寄贈事業、中国ろうきんNPO寄付システム、あいおいニッセイ同和損保助成プログラム、イーパーツリユースPC寄贈プログラム等、県民の地域活動への多様な参加を促し、企業をはじめ、県内外の多様な主体と協働して、人材や資金を活動団体に循環させるしくみの運用がすすんだ。

4. 震災から2年、個別の被災者に対する生活復興支援事業（災害ケースマネジメント）の取組をはじめ、県中部の復興に係るとともに、地域防災力強化のための支援活動が広がった。

震災から2年、震災復興活動支援センターにおいて、「中部復興祭」等復興のまちづくりや復興ボランティア団体の支援をはじめ、新たに災害ケースマネジメントに基づく「生活復興支援事業」をすすめた。

また、地域の依頼に基づき、若い世代が参加する防災訓練や「支え愛マップ」づくりの支援等を行い、地域防災への多様な参加の機会を広げることができた。

5. 情報発信を積極的にすすめ社会的認知を広げるとともに、職員の育成強化に努めた。

若者の意見を反映させたウェブの改修を行い、マンガによる広報パンフレットを製作するなど、発信媒体の工夫を行った。また、職員に対して面談による人事評価、内外の研修への参加を促し、スキルアップを図った。

1. 法人事業

1 法人業務

(1) 評議員会、理事会等の開催

○評議員、理事、監事の積極的な参加を得て、評議員会、理事会の活性化を図った。

ア. 評議員会

第1回臨時評議員会

・決議省略 決議があったとみなされた日 平成30年4月26日（木）

決議事項 1. 理事4名選任

第2回定時評議員会

・報告及び決議省略 報告及び決議があったとみなされた日 平成30年6月26日（火）

決議事項 1. 平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）

2. 監事1名選任

報告事項 1. 平成29年度事業報告

2. 平成30年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資見込みを記載した書類

説明文書を作成し、評議員を訪問（齋藤、毛利、[白鳥：6月22日のみ]）

平成30年6月21日（木）深澤評議員、森安評議員 6月22日（金）平井評議員

6月26日（火）本城評議員

イ. 理事会

第1回臨時理事会

・決議省略 決議があったとみなされた日 平成30年4月17日（火）

決議事項 1. 理事候補者4名選定

2. 平成30年度第1回定時評議員会の開催及び評議員会の目的である事項

第2回臨時理事会

・決議省略 決議があったとみなされた日 平成30年5月8日（火）

決議事項 1. 理事長1名選定

第3回定例理事会

平成30年5月29日（火）15:00～17:05

センター事務所（倉吉市山根557番地1パープルタウン2階）

理事9名に対して出席理事9名、監事2名に対して出席監事1名 他出席者、県4名、センター5名

報告事項 1. 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告

2. 監査報告

- 決議事項 1. 平成29年度事業報告及び附属明細書
2. 平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録
3. 平成30年度第2回定時評議員会に付議する監事候補者選定
4. 平成30年度第2回定時評議員会の日時、場所、議事に付すべき事項等
- その他の事項 1. 平成30年度事業の進捗状況と今後の予定

第4回臨時理事会

平成30年10月22日（月）15:00～17:05

センター事務所（倉吉市山根557番地1パープルタウン2階）

理事9名に対して出席理事8名、監事2名に対して出席監事1名 他出席者、県4名、センター5名

- 報告事項 1. 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告
2. 平成30年度事業進捗及び上半期収支状況報告

- 協議事項 1. 平成30年度下半期の動き
2. 平成31年度事業計画

第5回定例理事会

平成31年3月20日（水）14:00～16:00

センター事務所（倉吉市山根557番地1パープルタウン2階）

理事9名に対して出席理事7名、監事2名に対して出席監事2名 他出席者、県4名、センター5名

- 報告事項 1. 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告

- 決議事項 1. 平成31年度事業計画

2. 平成31年度収支予算書、資金調達及び設備投資見込みを記載した書類

その他の事項 1. 今後の予定

理事との情報共有

理事会（5月、10月、3月）やセンター事業に参加・協力いただき、随時情報提供を行った。

ウ. 監査

- ・監査の実施及び監査報告書の作成 平成30年5月10日（木）センター事務所 監事2名
- ・県監査委員会による監査

事務監査 平成30年7月31日（火）センター事務所 監査事務局2名

本監査 平成30年10月18日（木）センター事務所 監査委員2名、監査事務局1名

（2）信頼される事務局機能の構築

○適切な役割分担とチームワークによって、県民に対する誠実な対応と確実な業務遂行をめざした。

震災復興活動支援センター非常勤職員1名を加え、東・西部に配置している正職員2名とあわせ計10名の職員体制（正職員6名、非常勤職員3名、アルバイト1名）で業務をすすめてきた。多様な勤務形態や勤務地にあって、統一感をもって事務局を機能させていくために、理事長同席のもと全員参加のミーティングを定期的に（月1回程度）開催するとともに、チャットワークやグーグル等の無料クラウドサービスを活用して情報共有を行い、日々の勤怠管理や県内出張の決裁等をすすめ、効率的な業務遂行に努めた。

個々の職員が、支援の専門性や組織で働く力を高められるよう、内部で研修機会をつくるとともに、外部研修の参加を促し、自己研鑽の機会を提供した。また、昨年に引き続き、適切な人事管理と個々の職員の資質向上のため、人事評価と職員面談を行った。

県参画協働課及び県の各振興課（東・中・西部）とセンター職員間で、定期的に協議の場を持ち、情報共有及び意思疎通を図るとともに、県危機管理政策課、県中部地震復興本部事務局、県庁各課及び市町村行政

等との連携にも努めた。

顧問税理士事務所や県行政監察・法人指導課の指導を受けながら、公益法人会計にもとづく会計事務や公益認定法にもとづく適切な運営、事務処理を行い、社会的信頼を得られるよう努めた。

ア. スタッフミーティング

- ・月1回程度（年11回）開催

イ. 職員面談、人事評価

- ・理事長及び常務理事が、職員9名に対して個々に面談を行い、人事評価（アルバイト1名を除く）を行った。
個別面談 第1回 平成30年6月5日（火）、6月8日（金）
第2回 平成30年9月27日（木）、9月28日（金）
第3回 平成31年3月8日（金）、3月11日（月）

ウ. スタッフ研修（事業に関わる県内外の情報収集及びネットワーク構築を含む）

＜内部研修＞ 2回

- ・寄付醸成、資金調達、組織基盤強化等について 平成30年7月11日（水）鳥取大学地域学部教室
講師：岸本幸子（（公財）パブリックリソース財団代表理事・専務理事） ※家中茂研究室の紹介
- ・休眠預金に関する勉強会 平成30年11月23日（木・祝）さざんか会館会議室（鳥取市）
講師：川北秀人（人と組織と地球のための国際研究所〔I I HOE〕代表）
- ・システムコーチング 平成31年2月21日（木）センター事務所 ※日本財団鳥取事務所の紹介
講師：長浜洋二（モジョコンサルティング合同会社代表）
- ・岡山の市民参加の資金循環のしくみづくりに学ぶ
平成31年3月16日（土）県民ふれあい会館和室（鳥取市）
講師：石原達也（（一社）全国コミュニティ財団常務理事・事務局長、P s 瀬戸内株式会社代表取締役社長）

＜外部研修＞ 17回（全国の中間支援組織、県等が行う県内外の研修会等）

- 〔県外〕CSRレポート研究会、ソシオマネジメントスクール及びシン・シエンシャ研修（岡山）、NPO支援者〔中堅スタッフ〕研修（広島・茨城）、休眠預金活用に関する勉強会（島根）、休眠預金活用に関する意見交換会（東京）、災害ボランティアセンター運営者研修（東京）、NPO法20周年記念フォーラム及び市民セクター全国会議（東京）、NPO法20周年記念プロジェクト地域勉強会（岡山）、みんなでつくる集落研究所成果報告会（岡山）、未来を考える非営利法人運営セミナー（岡山）、NPO会計力向上キャンペーン総括フォーラム（東京）、日本の地域福祉とファンドレイジングフォーラム（東京）、全国コミュニティ財団協会5周年年次大会（岡山）
- 〔県内〕県日野郡連携会議職員合同研修会（日野町）、ボランティアコーディネーター養成研修（鳥取市）、准認定ファンドレイザー必修研修（鳥取市）、支え愛マップづくり指導者研修（鳥取市・倉吉市・米子市）、中国5県NPO中間支援組織スタッフ研修交流会（鳥取市）

エ. 定期協議等

- ・県参画協働課との定期協議 2ヶ月に1回程度（年6回）
- ・市町村担当課との協議（地域づくり・NPO交流会、震災復興等）を実施
- ・県行政監察・法人指導課への報告（事業報告、事業計画、役員変更等）2回
- ・顧問税理士 野口会計事務所（倉吉市） 月1回協議・確認

オ. 職員の採用

- ・鳥取県中部地震生活復興支援事業に係る非常勤職員1名
1年の期間を定めて採用 平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

- ・非常勤職員採用募集（会計等一般事務）
 募集人員 非常勤職員1名
 募集受付期間 平成30年11月16日（金）～12月12日（水） 応募2名
 書類選考 平成30年12月19日（水）
 面接試験・判定会議 平成30年12月24日（月）センター事務所
 採用 平成31年2月1日（木）
- ・非常勤職員採用募集（県中部地震生活復興支援業務）
 募集人員 非常勤職員1名（採用期間1年）
 募集受付期間 平成31年2月1日（金）～2月15日（金） 応募なし
 再募集受付期間 平成31年2月22日（金）～3月12日（火） 応募3名
 書類選考 平成31年3月14日（木）
 面接試験・判定会議 平成31年3月21日（木・祝）センター事務所
 採用 平成31年4月1日（月）

2. 公益目的事業

1 組織基盤強化支援事業

（1）専門家派遣事業

○NPO等の組織運営や会計等の専門的な相談に対して、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、中小企業診断士等を個別に又は出前相談会等を通じて派遣するとともに、専門家等で構成するNPO等支援のためのネットワーク会議を開催した。

ア. 専門家派遣による相談対応

- ・登録者 税理士7名（東部2名、中部2名、西部3名）、司法書士1名（東部1名）
 行政書士14名（東部6名、中部3名、西部5名）
 社会保険労務士7名（東部5名、中部1名、西部1名）
 中小企業診断士7名（東部1名、中部1名、西部5名）
 のべ36名 重複を除き30名（東部11名、中部6名、西部13名）
- ・個別NPO等への派遣 6回 相談 6件（東部3件、西部3件）
- ・出前相談会への派遣 4回 相談5件（とっとり元気フェス2019）
- ・各士業会が実施する無料相談会等の紹介及び「とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク」（日本政策金融公庫鳥取支店・米子支店、県行政書士会、県中小企業診断士協会、センター）の活用を行った。
 - ・無料相談会の紹介「暮らし・経営なんでも無料相談」10士業による合同相談会
 平成30年10月14日（日）鳥取県立図書館
 「中小企業診断士の日」 鳥取県中小企業診断士協会
 平成30年11月4日（日）鳥取県立図書館、倉吉市立図書館、米子市立図書館
- ・出前相談会の参加「とっとり元気フェス2019相談ブース 日本政策金融公庫米子支店1名
 平成31年3月1日（土）米子市淀江文化センター（とっとり元気フェス2019）

イ. 専門家等支援ネットワーク会議の開催

- ・第1回 平成30年9月14日（金）センター事務所 参加15名（うち専門家7名）
 ケーススタディ：NPO法人米子ボート協会（米子市）
- ・第2回 平成31年2月28日（水）センター事務所 参加16名（うち専門家7名）
 ケーススタディ：[地域運営組織] 楽しもなかやま（大山町）

※出前相談会及び専門家支援ネットワーク会議には、日本政策金融公庫鳥取支店、同米子支店、鳥取県中小企業診断士協会、鳥取県行政書士会で構成する「とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク」からの参加もあり、情報交換を図った。

（２）NPO経営実態把握事業（NPO経営実態資料の整備）

○「NPO法人経営実態調査」を実施し、きめ細かい相談支援のための基礎資料「NPO経営実態把握資料」を更新した。

ア NPO経営実態資料の整備

- ・昨年に引き続き、県が公開するNPO法人の情報（事業報告書等）を利用するほか、アンケート調査や訪問又は電話による聞き取り調査により、データを収集し、集計を行い、県内のNPO法人ごとに収支構造や雇用等の経営状況、会計事務等の運営状況及び情報収集・発信等の活動状況並びにそれらの課題を取りまとめた資料を作成し、センターの支援業務に活かした。
- ・アンケート回収数 102法人／279法人（約37％）
- ・訪問又は電話による聞き取り調査数 31法人（東部14法人、中部6法人、西部11法人）
- ・鳥取大学竹内潔講師及び同研究室の学生と共同実施

（３）NPO事務力強化事業【自主事業】

○NPO法人等の事務力やガバナンスを高める取組をすすめた。

ア NPO事務説明会&相談会（共催：県東・中・西部各振興課）

- ・NPO法人の貸借対照表の公告義務化にあわせ、総会開催の準備、基本的な事務手続きに関する説明会及び個別相談会を、県の各振興課と連携して開催した。

【東部】平成30年4月23日（月）県東部庁舎会議室

参加28名（法人15名、県東部振興課6名、県参画協働課3名、センター4名）

説明：毛利葉（センター事務局長）、寺坂純子（センター主任企画員）、岩成哲彦（県東部振興課課長補佐）

【中部】平成30年4月25日（水）県中部総合事務所会議室

参加10名（法人5名、県中部振興課1名、県参画協働課2名、センター2名）

説明：毛利葉（センター事務局長）、椿善裕（センター企画員）、山崎香織（県中部振興課係長）

【西部】平成30年4月24日（火）県西部総合事務所会議室

参加19名（法人14名、県西部振興課1名、県参画協働課2名、センター2名）

説明：毛利葉（センター事務局長）、谷祐基（センター書記）、杉原昭二（県西部振興課課長補佐）

イ NPO法人事務説明会&相談会（共催：県東・中・西部各振興課、県参画協働課）

- ・「助成金合同説明会」の開催日程に合わせ、NPO法人制度や総会開催の準備、基本的な事務手続きに関する説明会及び個別相談会を、県の各振興課と連携して開催した。

【東部】平成31年3月6日（水）県庁講堂 ※協力：鳥取市ボランティア・市民活動センター

参加36名（法人32名、県東部振興課1名、県参画協働課2名、センター1名）

説明：寺坂純子（センター主任企画員）、木村良成（県東部振興課課長補佐）

【中部】平成31年3月5日（火）県中部総合事務所会議室

参加12名（法人6名、県中部振興課1名、県参画協働課2名、センター3名）

説明：毛利葉（センター事務局長）、椿善裕（センター企画員）、山崎香織（県中部振興課係長）

【西部】平成31年3月7日（木）県西部総合事務所会議室

参加33名（法人28名、県西部振興課1名、県参画協働課2名、センター2名）

説明：毛利葉（センター事務局長）、谷祐基（センター書記）、杉原昭二（県西部振興課課長補佐）

〔共催企画〕「総会前に押さえておきたい！NPO法人会計基準チェックセミナー」

平成30年5月15日（火）ふるさと島根定住財団会議室（松江市） 参加29名（うち鳥取県5名）

講師：利弘健（利弘健後公認会計士・税理士事務所ストラテジープロッツ合同会社）

主催：（公財）ふるさと島根定住財団、協力：NPO法人会計基準協議会

（４）非営利公益活動広報補助金交付事業【補助事業】

○チラシ、ホームページの作成など活動団体の広報活動に対して補助金を交付した。

ア．非営利公益活動広報補助金

- ・補助金総額 200万円 補助金上限額 11万2千円／件 補助率 3／4
- ・募集期間 1次募集 平成30年4月20日（水）～5月31日（火）
2次募集 平成30年7月10日（火）～8月8日（水）
- ・審査会 1次募集 平成30年6月7日（木） 応募15団体 採択15団体
2次募集 平成30年8月17日（金） 応募3団体 採択3団体
- ・応募18団体 採択18団体 交付決定総額181万8千円 確定17団体 交付確定総額168万2千円

【東部】9団体

NPO法人いちばん星（鳥取市）、NPO法人いなば西郷むらづくり協議会（鳥取市）

鳥取藝住実行委員会（鳥取市）、鳥取県里親会（鳥取市）、ユカワタナプロジェクト（鳥取市）

冒険あそび場IWAMI（岩美町）、NPO法人智頭町森のようちえん まるたんぼう（智頭町）

（一社）女性と子どものサポートセンターいのちね（智頭町）、ハッピーメイクさくら（鳥取市）

【中部】2団体

CAZADOR（琴浦町）、傾聴ボランティア「あいりす」（倉吉市）

【西部】7団体 ※うち実施中止1団体

NPO法人米子ボート協会（米子市）、子どもの人権広場（米子市）、よなご宇沢会（米子市）

さかいみなと銀座市場（境港市）、NPO法人こうふのたより（江府町）

むきばんだ応援団〔平成30年8月8日NPO法人認証〕（米子市）

※NPO法人奥大山倶楽部（江府町）〔実施中止〕

（５）控除対象特定非営利活動法人指定支援補助金交付事業【補助事業】

○鳥取県のNPO法人の条例個別指定制度に基づく指定を受けようとするNPO法人が司法書士等へ相談する際の経費に対して補助金を交付した。

ア．控除対象特定非営利活動法人指定支援補助金

- ・補助金総額 45万円 補助金上限額 15万円／件 補助率 3／4
- ・募集期間 平成30年9月3日（月）～10月31日（水）
- ・審査会 平成30年11月21日（水）
- ・応募1団体 採択1団体 交付決定総額 15万円 交付確定総額 15万円

【東部】1団体

NPO法人グリーツリズムもちがせ（鳥取市） ※平成31年2月に県へ指定申出

2 資金・ノウハウ等コーディネート事業

（１）企業との連携による県民運動の拡大事業

○「ヒト」「カネ」「スキル」等、多様な資源を擁する企業の社会貢献活動を喚起し、企業によるNPO等の活動支援や自らの活動実践を推進した。

ア. CSRマッチングセミナーの開催

- ・企業を対象に、全国的なCSR（企業の社会的責任）の事例やSDGs（持続可能な開発目標）の動き、センターが実施する寄付つき商品企画「お買い物チャリティー」「とっとりカンパイチャリティー」等、様々な社会貢献活動を紹介し、NPO等とマッチングするセミナーを商工会議所等と連携して開催した。

（3会場共通）講師：小桐登（岡山県ボランティア・NPO活動支援センターCSR相談員）

説明：椿善裕（センター企画員）、池淵菜美（センター書記）

【東部】平成30年10月29日（月）鳥取商工会議所会議室（鳥取市） 参加18名

協力：鳥取商工会議所

【中部】平成30年10月26日（金）倉吉未来中心セミナールーム（倉吉市） 参加6名

協力：倉吉商工会議所、倉吉市中心市街地活性化協議会、倉吉銀座商店街振興組合

【西部】平成30年10月18日（金）米子商工会議所会議室（米子市） 参加9名

協力：米子商工会議所、境港商工会議所

イ. 余暇を使った社会貢献活動（働き方改革）に関するセミナーの開催

- ・響かせようトットリズム♪とっとり元気フェス2019分科会「あなたの一歩で地域を元気に～身近なことからできる地域づくり・ボランティア～」において、プロボノの取組報告とあわせて開催した。

【西部】平成31年3月2日（土）米子市淀江文化センター会議室（米子市） 参加17名

発表：高井賢一（カンパイチャリティー参加、有限会社松友マネージャー）

池田幸恵（プロボノワーカー西部チーム担当、大山町やらいや逢坂事務局）

説明：寺坂純子（センター主任企画員）、谷祐基（センター書記）

ウ. 企業への個別働きかけ

- ・寄付つき商品開発普及、とっとりプロボノへの参加を促すために県内企業を訪問し、事業紹介を行った。
延べ25日24社（商工団体等を含む）

（2）寄付つき商品開発普及事業

○寄付つき商品に新たに組みたい企業等と活動団体とをマッチングし、開発支援・広報を実施した。

ア. 商品開発支援

- ・マッチング件数6件（新規1件、継続5件）

① [継続] あすなる手芸店（岩美町） 寄付先：NPO法人学生人材バンク（鳥取市）

オリジナルブローチ（580円）等1個につき10円を寄付

平成30年度の実施期間：平成30年7月1日（日）～平成31年3月31日（日）

[平成29年度分寄贈式]

平成30年4月9日（月）鳥取大学正門近く（鳥取市）

寄贈額（平成29年度分）2,350円

② [継続] 有限会社鳥取珈琲館（鳥取市） 寄付先：Tottori Mama's（鳥取市）

カフェの来客者数×5円を寄付

平成30年度の実施期間：平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

[平成29年度分寄贈式]

平成30年4月16日（月）トットリコーヒーロースター（鳥取市）

寄贈額（平成29年度分）33,380円

③ [継続] 寿製菓株式会社（米子市） 寄付先：こども食堂とみんなの居場所ほっとここ（倉吉市）

新商品「スタミナ納豆の素」150g 1個につき10円を寄付

平成30年度の実施期間：平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

[平成29年度分寄贈式]

平成30年4月18日(水) こども食堂とみんなの居場所ほっとここ(倉吉市)

寄贈額(平成29年度分) 3,620円

- ④ [継続] TSUDOI〜集〜(倉吉市) 寄付先:こども食堂とみんなの居場所ほっとここ(倉吉市)

「からあげスタミナ納豆丼」1つにつき10円を寄付

平成30年度の実施期間:平成30年4月1日(日)〜平成31年3月31日(日)

[平成29年度分寄贈式]

平成30年4月18日(水) こども食堂とみんなの居場所ほっとここ(倉吉市)

寄贈額(平成29年度分) 2,000円

- ⑤ [継続] (株) ウッドプラスチックテクノロジー(倉吉市) 寄付先:復興支援隊 緑(倉吉市)

ブルーシードバッグの売り上げ1個につき390円を寄付

平成29〜30年度実施期間:平成29年10月21日(土)〜平成31年3月31日(日)

[平成29年度分寄贈式]

開催なし、寄贈額(平成29〜30年度) 61,620円

- ⑥ [新規] ジーマックス株式会社(福岡県福岡市) 寄付先:災害レスキュー1149(鳥取市)

ラジエントヒーター1ヶ月レンタル費用2,000円(税別)につき100円を寄付

覚書調印式:平成30年7月19日(木) 県民ふれあい会館研修室(鳥取市)

実施期間:平成30年8月1日(水)〜平成31年3月31日(日)

※上記以外に実施した平成29年度分寄贈額

- ・(株) クリアメイト(米子市) 寄付先:NPO法人山陰福祉の会(米子市)

[平成29年度分寄贈額] 27,800円

- ・(株) ウッドプラスチックテクノロジー(倉吉市) 寄付先:NPO法人こども未来ネットワーク(倉吉市)

[平成29年度分寄贈額] 233,700円

- ・有限会社ライダーズスポット ムラタ(鳥取市) 寄付先:復興支援隊 緑(倉吉市)

[平成29年度分寄贈額] 12,042円

- ・株式会社クラウドサービス鳥取支社(米子市) 寄付先:西部地区にこども食堂の輪を拓げる会(米子市)

[平成29年度分寄贈額] 21,000円

(3) 助成金活用促進事業

○県内外の助成団体が提供する助成制度を紹介し、効果的な活用を促す「助成金合同説明会」を開催した。

ア. 民間等の助成事業説明会&活用セミナー

- ・県が主催する「地域づくり関係助成事業説明会」の一環として東・中・西部の3会場で開催。

県内外の民間等の助成事業の紹介と助成金の申請から活用方法に至る留意点について説明を行うとともに、個別の相談に対応した。

(3会場共通) 紹介及び説明 毛利葉(センター事務局長)

※県主催の説明会でのセンター助成事業の紹介 池淵菜美(センター書記)

【東部】平成31年3月6日(水) 県庁講堂(鳥取市) 参加90名

相談対応:寺坂純子(センター主任企画員)及び上記2名

【中部】平成31年3月6日(水) 県中部総合事務所講堂(倉吉市) 参加65名

相談対応:椿善裕(センター企画員)及び上記2名

【西部】平成31年3月7日(木) 県西部総合事務所講堂 参加70名

相談対応:谷祐基(センター書記)及び上記2名

イ. 非営利団体の助成金・寄付金セミナー

- ・「民間協働型活動支援事業」の寄付月間2018企画及び「とっとりの元気づくり全体会議」の一環として、“共感の輪をひろげる資金獲得”をテーマに、助成金・寄付金の活用に関するセミナーを開催した。

【西部】平成30年12月15日（土）米子コンベンションセンター会議室 参加38名

講師：山田泰久（NPO法人CANPANセンター代表理事、（一財）非営利組織評価センター業務執行役員）

【協力企画】セブーンイレブン記念財団「助成金セミナー」

平成30年10月31日（水）認定NPO法人自然再生センター事務所（松江市）

主催：認定NPO法人自然再生センター 参加21名（うち鳥取県6名）

（４）地域づくり研修企画補助事業

○地域づくり団体等が講師を招聘して企画する研修会及び講演会や地域づくり団体全国研修交流会への参加に要する経費を補助し、新たな事業のステップアップや新たな担い手のスキルアップを図った。

ア. 地域づくり研修企画補助

- ・地域づくり団体等が講師を招聘して企画する研修会及び講演会や地域づくり団体全国研修交流会への参加に要する経費を補助した。
- ・助成総額 75万円 助成上限額 5万円／件 補助率 10／10
- ・募集期間 1次募集 平成30年4月20日（水）～5月31日（火）
2次募集 平成30年7月10日（火）～8月8日（水）
3次募集 平成30年9月21日（金）～10月10日（水）
- ・審査会 1次募集 平成30年6月7日（木） 応募9団体（研修6団体、大会3団体） 採択9団体
2次募集 平成30年8月17日（金） 応募2団体（研修2団体） 採択2団体
3次募集 平成30年11月13日（火） 応募1団体（大会1団体） 採択1団体
- ・応募12団体 採択12団体 交付決定総額 58万4千円 確定12団体 交付確定総額 58万4千円

【東部】5団体（研修4団体、大会1団体）

稲葉山地区まちづくり協議会（鳥取市）[大会]、鳥取藝住実行委員会（鳥取市）[研修]

NPO法人学生人材バンク（鳥取市）[研修]、にじいろくるりん（智頭町）[研修]

ワールドシフト鳥取（鳥取市）[研修]

【中部】4団体（研修3団体、大会1団体）

新時代政策研究会（琴浦町）[研修]、野草織り工房（琴浦町）[研修]

高齢社会をよくなる会くらよし（倉吉市）[研修]、琴浦まちづくりネットワーク（琴浦町）[大会]

【西部】3団体（研修1団体、大会2団体）

とっとりの元気づくりプロジェクト西部チーム（米子市）[研修]

築き会（大山町）[大会]、やらいや逢坂（大山町）[大会]

（５）地域づくり活動ノウハウ提供事業

○地域づくり団体の登録を推進するとともに、ホームページ等を通じて情報発信を行った。

ア. 地域づくり団体の登録促進

- ・鳥取県における地域づくり団体協議会の事務局機能を担い、地域づくり団体や活動者に応じた相談に対応し、地域づくり団体の登録を推進した。

新規登録団体数 21 （登録団体総数 125）

イ.「第36回地域づくり団体全国研修交流会福島」参加案内

- ・平成30年11月16日（金）～18日（日）に開催された「第36回地域づくり団体全国研修交流会福島大会」の案内を行い、地域づくり団体の参加を促した。
- ・募集期間：平成30年7月6日（金）～8月31日（金）
※延長募集期間：平成30年9月1日（土）～10月15日（月）
- ・県内からの参加10名（7団体）
 - 【東部】稲葉山地区まちづくり協議会（鳥取市）1名、県参画協働課（鳥取市）3名
 - 【中部】琴浦まちづくりネットワーク（琴浦町）1名、センター（倉吉市）2名
 - 【西部】やらいや逢坂（大山町）1名、築き会（大山町）1名、日南町より1名

3 共感ネットワーク拡大事業

（1）とっとりの元気づくりプロジェクト

ア. とっとりの元気づくり会議の開催

- ・「鳥取県元気づくり総合戦略」の基本方針に基づき、本県の強みを活かした独自の地方創生のムーブメント「トトリズム県民運動」を推進するため、様々な団体の参画を得て、今後の具体的な取組に向けた議論を行う「とっとりの元気づくり会議（チーム会議）」を、全体で1回、東・中・西部で各2回、開催した。
 - 【全体】平成30年12月15日（土）米子コンベンションセンター会議室（米子市）参加39名
※「民間協働型活動支援事業」の寄付月間2018企画「非営利団体の助成金・寄付金～共感の輪をひろげる資金獲得～」において、東・中・西部の各チームの事業報告を行った。
 - 【東部】第1回 平成30年7月19日（木）県民ふれあい会館研修室（鳥取市）参加29名
第2回 平成31年2月25日（月）県民ふれあい会館研修室（鳥取市）参加30名
 - 【中部】第1回 平成30年6月14日（木）鳥の杜（倉吉市）参加10名
第2回 平成31年2月17日（日）ゆるりん館（湯梨浜町）参加17名
 - 【西部】第1回 平成30年6月11日（月）わだや小路（米子市）参加12名
第2回 平成30年9月3日（金）野波屋（米子市）参加38名

イ. プロジェクトチームの運営及びプログラムの実施

- ・とっとりの元気づくり会議の議論を踏まえ、「豊かな自然」、「人と人との絆」、「幸せを感じる時間」といった鳥取県固有の強みを活かすチームを設定して民間主体のプロジェクトチームを東・中・西部のとっとりの元気づくり会議に設け、テーマごとにプログラム（一連の事業）を実施した。

＜東部プロジェクトチーム＞ テーマ：県東部の魅力を活かした自然体験の普及促進

- ・役員、組織構成 幹事7名
幹事長 長谷川浩司（鳥取県自然体験塾）
幹事 間屋口貴仁（NPO法人地域スポーツ推進協会）、浜崎大輔（浜崎酒販）
大堀貴士（認定NPO法人ハーモニカレッジ）、片岡義夫（株式会社ゼロ）
徳本敦子（NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん）、神谷朱音（若桜町地域おこし協力隊）
- ・幹事会 第1回 平成30年5月23日（水）県民ふれあい会館研修室（鳥取市）
第2回 平成30年10月10日（水）県民ふれあい会館研修室（鳥取市）
- ・東部チーム会議登録数：21団体及び個人
- ・センター担当：寺坂主任企画員 県参画協働課担当：山本主事
- ・資金の調達：自己資金の範囲で実施

① 地域おこし協力隊サポート事業

地域おこし協力隊の中から、卒業後「とっとり」で活動・起業を計画している任期3年目の県東部担当の協力隊員3名に対して、計画の実現に向けてチームが知恵とネットワークを提供し、サポートした。

- ・新たな「とっとり人」の発掘（地域おこし協力隊へのヒアリング）5月～6月に5回開催
サポート対象の協力隊員の確定 則定希（岩美町）、神谷朱音（若桜町）、小池陽子（智頭町）
- ・勝手にとっとり人化計画「地域おこし協力隊の夢を皆で叶えよう！ワークショップ」
平成30年7月19日（木）県民ふれあい会館研修室（鳥取市）参加29名 ※チーム会議と同時開催
各協力隊員が卒業後の計画をプレゼンし、参加者がアイディア出し、アドバイス、情報共有を実施
幹事2名ずつがメンターに就き、関係者全体で3名の協力隊員をサポート
- ・勝手にとっとり人化計画「地域おこし協力隊の夢を皆で叶えよう！報告会」
平成31年2月25日（月）県民ふれあい会館研修室（鳥取市）参加30名 ※チーム会議と同時開催
各協力隊員が卒業後の計画の進捗状況を報告し、参加者との意見交換を実施

② こども自然体験キャラバン隊（平成28年度～）

一昨年度チームで実施し、昨年度から「夏あそび」という名称に変更し、NPO法人地域スポーツ推進協会及びちやれきんぐ（株）が継続して実施した。

平成28年度 鳥取県自然体験塾、認定NPO法人ハーモニカレッジと連携

平成29年度 鳥取県自然体験塾、Develop SURF&SEAと連携

平成30年度 認定NPO法人ハーモニカレッジと連携

③ スタディキャラバン（平成29年度～）

昨年度チームで実施し、今年度は（株）おむすび鳥取、NPO法人学生人材バンクが主体となって実施した。
AND MORE及び元鳥取県地域おこし協力隊は運営側として、チームは必要に応じて協力した。

- ・第2回鳥取スタディキャラバン 平成30年9月7日（金）～9日（日） 参加7名（高校生・大学生）
鳥取砂丘でのアクティビティ体験、鳥取市中心市街地のまち巡り、真教寺公園の利活用の事業提案を実施
まち巡りでは活動・商いを行う魅力ある方々の話を聴き、事業提案を念頭に置きながらヒアリングを実施

④ インターンシップ登録（平成29年度～）

鳥取県中小企業団体中央会、COC+（県内5大学）へ引き続き登録 登録4団体7名参加

<中部プロジェクトチーム> テーマ：「コミュニティ」と「震災復興・地域防災」

- ・役員、組織構成 幹事5名、監事1名
幹事長 福井恒美（リアルマック） 副幹事長 楠本知恵美（NPO法人こども未来ネットワーク）
幹事 辺美礼（湯梨浜町地域おこし協力隊）、藤田澄（コンフォス）、久和温美（琴浦町地域おこし協力隊）
監事 澤泰二郎（むげんの風）
- ・幹事会 第1回 平成30年5月11日（金）センター事務所
第2回 平成30年10月9日（火）センター事務所
第3回 平成30年12月6日（木）センター事務所
- ・中部チーム会議登録数：12団体及び個人
- ・センター担当：椿企画員 参画協働課担当：中島課長補佐
- ・資金の調達：自己資金の範囲で実施

① 若者体験ツアー「地域に飛び込む体験ツアー」

- ・平成30年7月26日（木）倉吉市及び琴浦町で実施
参加6名（県立倉吉東高等学校3名、鳥取城北高等学校3名）
受入団体：リアルマック（カーゴマルシェ体験）、CAZADOR（里山保全・獣害対策）

② 「地域で防災を考える」

- ・平成30年8月26日（日）鳥の杜（倉吉市） 参加18名
復興支援隊縁及び平成30年西日本豪雨水害支援活動の報告
ミニワークショップ「災害に強い地域をつくるには？」の実施
防災グッズの展示、ボードゲームイベント、キーマカレーの販売を同時開催

③ 映画『みんなの学校』上映会&座談会（同内容で3回開催）

- ・平成30年9月15日（土）総合相談センターどれみ（湯梨浜町） 参加42名

映画『みんなの学校』を鑑賞した後、参加者同士で感想や地域における教育や子育てなどについて意見交換を実施した。

④ パネルディスカッション（リアルマックとの連携イベント）

- ・平成31年2月17日（日）ゆるりん館（湯梨浜町） 参加17名

トーク：（高校生）県立倉吉東高校3名、県立倉吉総合産業高校「くらそう屋」2名

青翔開智中学校・高等学校1名

（移住者）小島慎司（大阪府出身／webデザイナー）、船寄尚美（大阪府出身／作業療法士）、

安藤翔馬（東京都出身／農業大学校学生〔梨農家志望〕）

県外移住者と地元高校生で「コミュニティの担い手」をテーマに意見交換を実施

＜西部プロジェクト＞ テーマ：県西部圏域における古民家・空き家の利活用の推進

- ・役員、組織構成 幹事5名、監事1名

幹事長 長谷川満（パワフル伯耆まちづくり協議会）

幹事 山中裕二（NPO法人山陰福祉の会） 角信樹（山陰ステキ不動産）

山本博美（楽笑本舗） 上野真（NPO法人こうふのたより）

監事 松本良史（NPO法人奥大山倶楽部）

- ・幹事会 第1回 平成30年6月11日（月）わだや小路（米子市）参加12名 ※チーム会議と同時開催

第2回 平成30年9月3日（金）community lab 野波屋（米子市）参加17名

※チーム会議と同時開催

- ・西部チーム会議登録数：12団体及び個人

- ・センター担当：谷書記 参画協働課担当：安岡係長

- ・資金の調達：センター「地域づくり研修企画補助金」5万円

県参画協働課「トトリズム推進補助金（継続支援）」約6万7千円

県環境立県推進課「環境保全活動支援補助金」10万円、参加費及び協賛金収入

① I e k a t s u セミナー「中村功芳さんののはなし～3年で52ヵ国12万人が訪れるまで～」

- ・平成30年8月2日（木）日本財団まちなか拠点in米子（米子市） 参加33名

トーク：中村功芳（NPO法人アースキューブジャパン） 参加費1,500円（ワンドリンク付）

ゲストハウス開業合宿、ゲストハウスによる空き家活用の事例等についてのトークを実施

② I e k a t s u セミナー「地域の価値を高めるシゴトのススメ～地域のなりわいは自分たちでつくる～」

- ・平成30年9月3日（月）community lab 野波屋（米子市） 参加30名

講師：中村功芳（NPO法人アースキューブジャパン） 参加費2,000円（ワンドリンク付）

プレゼン：井中友子（集落支援員／伯耆町）、井上可奈子（地域おこし協力隊／南部町）

吉田輝子（キミトデザインオフィス／米子市）

全国及び海外の空き家活用の事例紹介を講師より、現在計画中の空き家活動の計画等を地元活動者より聞き、会場を交えて意見交換を実施

③ 「断熱リノベーションワークショップ@カフェ七草」

- ・平成31年2月24日（土）カフェ七草（南部町） 参加17名

講師：高藤宏夫（コモン建築事務所）

プロでなくてもできる手法を用いて、断熱ワークショップを開催

④ I e k a t s u セミナー フォローアップ支援

- ・平成31年3月26日（火）道笑町ゲストハウス（米子市） 参加12名

8～9月のセミナーに参加したNPO法人大山綿の花が、米子市の中心市街地で空き店舗を活用して計画中の新規事業の活用方法について、チームメンバーを中心にアイディアを出し合うワークショップを開催

ウ. 響かせようトットリズム♪とっとり元気フェス2019【事務局担当】

- ・平成31年3月2日(土) 米子市淀江文化センター 参加817名
県西部地域を中心に構成された民間の実行委員会により企画・実施。トットリズム活動表彰、講演会・パネ
ルディスカッション、分科会、ブース出展、交流会等が行われ、参加者同士の交流・連携が図られた。
事務局を県参画協働課とともに担い、3つの分科会及び相談ブース等の当日運営を担当した。

エ. その他の企画

- [協力企画]「ESD学びあいフォーラム in 鳥取」～デザイン思考から考えるESDと環境教育～
平成31年2月23日(土) 青翔開智中学校・高等学校
主催：環境省パートナーシップオフィス(EPOちゅうごく)、鳥取県地球温暖化防止活動推進センター
- [協力(後援)企画]「とっとりGOOD FOOD MARKET MARUCOLLA」
平成30年6月2日(土)～3日(日) 鳥取砂丘こどもの国 主催：同実行委員会

(2) 社会人・若者ボランティア(プロボノ)推進事業

- 県内の社会人及び若者が自らのスキルを活かして県内の活動団体を支援する、ボランティア(プロボノ)
プロジェクトを実施した。

ア. プロボノ説明会及びプロボノ育成研修の実施

- ・プロボノ説明会の開催(受入団体及びプロボノワーカーの募集)
(2会場共通) 説明：寺坂純子(センター主任企画員)、谷祐基(センター書記)
【東部】平成30年5月30日(水) 鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ(鳥取市) 参加35名
【西部】平成30年6月1日(金) 米子コンベンションセンター(米子市) 参加13名
- ・プロボノワーカー及びプロボノワーカー希望者に対する研修会の開催
【東部】平成30年11月30日(金) 鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ(鳥取市) 参加11名
講師：東根ちよ(鳥取大学地域学部講師)

イ. プロボノ・プロジェクトの実施

- ・課題を抱える県内のNPO等支援希望団体を公募し、県内の社会人・若者とマッチングして、その課題に取り
組む2件のプロジェクトを実施。
- ・プロボノワーカー受入団体の募集及び審査
受入団体募集 平成30年5月18日(金)～6月29日(金) 応募2団体
面接審査 平成30年7月24日(火) JR江尾駅会議室(江府町) 参加：NPO法人こうふのたより
平成30年7月30日(月) ギャラリー鳥たちのいえ(鳥取市) 参加：NPO法人鳥の劇場
採択2団体
【東部】1団体
NPO法人鳥の劇場(鳥取市)
【西部】1団体
NPO法人こうふのたより(江府町)
- ・プロボノワーカー募集及び支援チームの編成
プロボノワーカー募集 平成30年5月18日(金)～7月31日(火) 登録者32名(うち新規4名)
チーム参加募集 平成30年8月7日(月)～17日(木)
対象を大学生にも広げ、鳥取大学で募集実施。大学生1名登録(途中退出)
チーム編成 東部チーム3名、西部チーム4名
- ① プロジェクト実施[長期] 9月～2月(6ヶ月)
NPO法人鳥の劇場(鳥取市) 支援内容「マーケティング基礎調査」

- ・キックオフ事前及びキックオフミーティング

平成30年8月31日（金）NPO法人鳥の劇場事務所（鳥取市）

- ・ワーカーミーティング 14回 ヒアリング、アンケート、文献調査 12月下旬
- ・中間提案 平成30年11月24日（土）NPO法人鳥の劇場ホワイエ（鳥取市）
- ・最終提案 平成31年2月16日（土）NPO法人鳥の劇場会議室（鳥取市）

NPO法人こうふのたより 支援内容「マーケティング基礎調査」

- ・キックオフ事前及びキックオフミーティング

平成30年9月9日（日）わだや小路（米子市）

- ・ワーカーミーティング 4回 ヒアリング、文献調査 10月～11月
- ・中間提案 平成30年12月14日（金）NPO法人こうふのたより（江府町）
- ・最終提案 平成31年2月2日（土）NPO法人こうふのたより（江府町）

② プロジェクト実施【短期】11月～1月（3ヶ月以内）

「若者の地域づくり活動への参画促進事業」のワークショップにプロボノの手法を取り入れ、鳥取大学地域学部東根講師と連携して実施した。

【東部】学生によるプロジェクト 支援内容「センターの若者向け情報発信の改善策の提言」 参加47名

- ・最終提案 平成31年1月26日（土）鳥取大学共通教育棟（鳥取市）

ウ. プロボノ報告会の実施

- ・地域づくり団体等を対象に、プロボノプロジェクトの成果等を発表する報告会を、響かせようトトリズム♪とっとり元気フェス2019分科会「あなたの一歩で地域を元気に～身近なことからできる地域づくり・ボランティア～」において、寄付のとりくみ報告とあわせて実施。

【西部】米子市淀江文化センター会議室（米子市） 参加15名

発表：池田幸恵（プロボノワーカー西部チーム担当、やらいや逢坂事務局）

上野真（西部のプロボノ受入団体、NPO法人こうふのたより）

報告：寺坂純子（センター主任企画員・東部担当）、谷祐基（センター書記・西部担当）

（3）若者の地域づくり活動への参画促進事業

ア. 地域づくり活動体験ツアーの実施

- ・地域づくりに興味がありながら、今一歩を踏み出せないでいる若者を対象とした「地域づくり活動“お試し”体験ツアー」を「ととりの元気づくりプロジェクト中部チーム」との共催で実施。

【中部】平成30年7月26日（木）倉吉市及び琴浦町 参加6名（倉吉東高校3名、鳥取城北高校3名）

[受入団体及び内容]

- ・リアルマック（倉吉市） 倉吉市成徳地区においてカーゴマルシェの買い物支援体験
- ・CAZADOR（琴浦町） 琴浦町を中心に若手狩猟グループ「カサドル」による獣害対策体験

イ. 出前講座の開催

- ・潜在的に地域づくりに興味がある層が一定数見込まれる大学等の協力を得ながら、大学等に出向き、地域づくり活動を紹介する地域課題解決ワークショップ（出前講座）を開催。

【東部】平成30年5月30日（水）鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ 参加35名

「地域づくりスタートアップセミナー」として、プロボノ説明会（東部）とあわせて開催。

- ・県内NPOの活動事例紹介

中川玄洋（NPO法人学生人材バンク代表理事）

中井みずほ（Tottori Mama's代表）

- ・センター支援メニュー（プロボノ等）紹介等

寺坂純子（センター主任企画員）、谷祐基（センター書記）

【東部】平成30年12月5日（水）公立鳥取環境大学講義室 コミュニティビジネス論 参加約40名
倉持裕彌（公立鳥取環境大学経営学部准教授）「コミュニティビジネスについて」の講義。
講師：毛利葉（センター事務局長）

【東部】平成31年1月26日（土）鳥取大学地域学部共通教育棟 参加47名 ※11月中旬より実施
東根ちよ（鳥取大学地域学部講師）による「ワークショップ入門（下期・金曜2限）」講義内の実践
編として、学生にセンターの若者向けの情報発信のあり方について、ワークショップの技法を用い
ながら提案を受けた。（プロボノ短期プロジェクトとして実施）

【東部】平成31年2月27日（水）鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ 参加12名
「SDGs勉強会」として、SDGsの概要説明、事例紹介。
講師：谷祐基（センター書記）、上山梓（センター事務局員）

ウ. 若者向けチラシ作成、ウェブサイトの改修

- ・若者向けにQRコード付きのチラシ等を4種類作成し、センターのウェブサイトの改修（若者対象ページの追加）を行った。
- ・チラシの種類 ①とっとり県民活動活性化センター ②とっとりプロボノ
③寄付つき商品「お買い物チャリティー」 ④クラウドファンディングFAAVO鳥取

（4）ボランティア支援ネットワーク事業

○市町村のNPO・地域づくり等の担当者と連携し、ネットワーク会議・交流会や地域課題ワークショップを開催し、県内のボランティア活動の情報収集に努め、県社会福祉協議会等との連携をすすめた。

ア. NPO等とのネットワーク会議等の開催

- ・NPO等・市町村とのネットワーク会議・交流会を、6市町村で開催。

【西部】【江府町】平成31年1月11日（金）防災情報センター 参加15名
毎月開催している「ネットワークこうふ」の中でセンターの紹介等を行い、交流を図った。
主催：NPO法人こうふのたより

【中部】【倉吉市】平成31年1月22日（火）エキパル倉吉多目的ホール 参加41名
倉吉市に建設される打吹回廊を題材に鳥取県中部圏域各地の地域と地域の拠点のあり方をNPO
等、行政、商工事業者など多様な主体で話し合い、交流を図った。
共催：倉吉市地域づくり支援課、県中部振興課
後援：倉吉市中心市街地活性化協議会、倉吉銀座商店街振興組合 株式会社チュウブ

【西部】【境港市】平成31年2月13日（水）しおさい会館 参加12名
県及びセンターの補助・助成制度の説明を、山寄正人（県西部振興課中山間地域振興リーダー）、谷
祐基（センター書記）が行い、その中でお互いの活動内容や自団体の困りごとについて話し合う時間
を設け交流を図った。
協力：境港市地域振興課、境港市民活動センター

【東部】【智頭町】平成31年2月21日（木）智頭町観光協会会議室 参加16名
様々な組織形態や活動分野の団体・法人が、それぞれの活動内容・状況を共有し、町内での役割・
関係性を整理しながら全体像を共有した。
共催：智頭町企画課

【中部】【北栄町】平成31年2月23日（土）北栄町大栄農村環境改善センター会議室 参加20名
住民主体の地域づくりをテーマに、島根県雲南市地域振興課板持周治課長を講師に招き、雲南市で
の小規模多機能自治の取組の講演を行い、北栄町での地域づくりについて意見交換・交流を図った。
共催：北栄町企画財政課
平成31年3月14日（木）「地域づくりバスツアー in 雲南」をコーディネート 参加約30名

【東部】【鳥取市青谷町】平成31年2月27日（水）鳥取市青谷町総合支所会議室 参加12名

まちづくり関係の団体・法人が、それぞれの活動内容・状況を共有し、今後のまちづくりに何を生かしていけそうかの意見交換を行った。

共催：鳥取市青谷町総合支所

イ. 県民へ向けた地域課題出前講座の開催

- 潜在的に地域づくりに興味がある層が一定数見込まれる大学等の協力を得ながら、大学等に出向き、地域づくり活動を紹介する地域課題解決ワークショップ（出前講座）を開催。

【中部】平成30年12月8日（土）北栄町農村環境改善センター 参加40名 主催：北栄町

講演会「地域づくりは何のため？地域の困りごとは住民の力で解決できる？」を共催で実施し、岡山県津山市の小規模多機能自治の取組紹介を行った。

講師：三村雅彦（NPO法人みんなの集落研究所 調査員・地域支援員）

國米 彰（津山市上加茂地区住民自治協議会会長、NPO法人スマイルちわ理事長）

ウ. ボランティア支援団体等とのネットワーク構築

- 県民のボランティア活動を支援する団体・機関を訪問し、必要な情報を共有し、連携を図った。
延べ11回11団体（県及び市町村の社会福祉協議会、教育委員会等の支援機関、高等学校、NPO等）鳥取県社会福祉協議会、鳥取市社会福祉協議会の「ボランティア・市民活動ボランティアセンター」との事業連携（共催、後援、協力等）をすすめるとともに、委員として参加する会議等も増えた。
- 災害ボランティアセンター支援（鳥取県社会福祉協議会及び震災復興活動支援センター事業との連携）
島根県西部地震（4月）大田市災害ボランティアセンター 1名
大阪北部地震（7月）「災害ボランティア隊派遣」（鳥取県社会福祉協議会）へ同行 1名
平成30年7月豪雨災害 智頭町災害ボランティアセンター 2名
倉敷市災害ボランティアセンター 3名
広島市南区災害ボランティアセンター 1名
- 平成30年7月豪雨災害被災地支援「ボランティアバス」の運行及び随行
平成30年10月27日（土）岡山県倉敷市真備町等
集合解散：鳥取市、倉吉市 共催：鳥取県社会福祉協議会
協賛・協働パートナー：被災NGO協働センター、公益社団法人Civic Force 参加7名
- 鳥取県中部地震の支援活動で立ち上がった災害ボランティア団体（復興支援隊縁）の窓口支援
- 鳥取県社会福祉協議会「災害ボランティア活動関係機関連絡会」に参加
- 「災害時相互協力協定」の締結 平成30年12月26日（水）鳥取県知事公邸（鳥取市）
「災害ボランティア活動関係機関連絡会」（主催：鳥取県社会福祉協議会）に参加する以下の6団体で、災害時における情報の共有や災害救援ボランティアセンターの運営支援、平常時における連携体制の確立など、各組織の機能を最大限に活かした相互協力をすすめることを取り決めました。
締結団体：（公社）日本青年会議所中国地区鳥取ブロック協議会（呼びかけ団体）、鳥取県生活協同組合
日野ボランティア・ネットワーク、鳥取県社会福祉協議会
県（福祉保健課、危機管理政策課、参画協働課）、センター

（5）民間協働型活動支援事業【自主事業】

- 寄付文化及びNPO等の社会的信頼を醸成するためのイベントや講座等、全国の「寄付月間2018」と連携して開催するとともに、企業及び県内外の支援団体と連携して、NPO等を対象とした資金、物品、ノウハウ等の支援プログラムを実施した。

ア. 寄付文化醸成、寄付活動活性化のイベント等の開催

(ア)「理事・理事会改革講座」

- ・平成30年11月23日（金・祝）県民ふれあい会館研修室（鳥取市） 参加16名
テーマ「組織と社会に役立つ理事・理事会へ～非営利団体の理事・理事会の責任と役割を再確認する～」
講師：川北秀人（人と組織と地球のための国際研究所 [I I H O E]代表）

(イ)「非営利団体の助成金・寄付金セミナー～共感の輪をひろげる資金獲得～」

- ・平成30年12月15日（土）米子コンベンションセンター会議室
※「とっとりの元気づくり全体会議」、「助成金活用促進事業」と連携 参加39名

<とっとりの元気づくりプロジェクト概要説明&各チーム進捗報告>

説明：毛利葉（センター事務局長）

報告：[東部] 大堀貴士（東部チーム幹事／認定NPO法人ハーモニカレッジ）

[中部] 福井恒美（中部チーム幹事／リアルマック）

[西部] 長谷川満（西部チーム幹事／パワフル伯耆まちづくり協議会）

<分科会「非営利団体の資金について、実践者を困るでの本気の意見交換」>

ゲスト：① クラウドファンディング 森本萌（鳥取なにたべ編集長）

② 寄付金 大堀貴士（認定NPO法人ハーモニカレッジ理事長）

③ 助成金 熊谷昌彦（認定NPO法人自然再生センター理事長／島根県）

④ アイデア・工夫で資金獲得 上田啓悟（鳴り石の浜プロジェクトサブリーダー）

⑤ 古民家・空き家の利活用で地域づくり

小林清（NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会副理事長・事務局長）

⑥ ネットワーク・CSR・SDGs

中田輝樹（鳥取県生活協同組合くらしサポート総合窓口相談員）

<講演「今こそ、リアルな助成金の活用と資金調達」>

講師：山田泰久（NPO法人CANPANセンター代表理事）

(ウ) 非営利法人に対する第三者評価、グッドガバナンス認証の普及連携

- ・第三者組織評価（書面による「ベーシック評価（23基準）」、書面及び訪問による「アドバンス評価（27基準）」）によるグッドガバナンス認証制度の開発・普及を行う（一財）非営利組織評価センターと協働して、非営利法人のガバナンス強化と社会的信頼醸成を図るとりくみを行った。

① 認証制度の普及及び宣伝…NPO法人に組織診断案内とあわせて案内を送付

② 説明会の開催…平成30年12月15日（土）米子コンベンションセンター会議室 参加21名

テーマ：非営利組織の資金獲得ポイントの指南～組織基盤強化・第三者組織評価～

講師：山田泰久（（一財）非営利組織評価センター業務執行役員）

③ 個別法人向けコーディネート NPO法人米子ボート協会がエントリー

(エ) その他の企画

[協力企画] 寄付文化醸成にむけた自主勉強会「ファンドレイズ自主勉強会」

～鳥取県内における、団体にとっての寄付をはじめとする資金調達の可能性～

平成30年6月15日（金）Camel0857（鳥取市） 参加15名

報告：梶谷彰男（NPO法人学生人材バンク理事）、原田昴拓（同法人職員）、上山梓（センター事務局員）

主催：NPO法人学生人材バンク

[協力企画] 「准認定ファンドレイザー必修研修」

平成30年9月16日（日）とりぎん文化会館（鳥取市） 参加14名

講師：高田佳奈（認定ファンドレイザー／岡山県）、柿沼瑞穂（認定ファンドレイザー／山口県）

主催：認定NPO法人日本ファンドレイジング協会、同法人中国チャプター

〔共催企画〕NPO大学「NPOの評価について」

平成30年9月22日（土）市民活動拠点アクティブとっとり（鳥取市） 参加14名

ゲスト：小倉加代子（認定NPO法人自然再生センター専務理事・事務局長／島根県）

説明：毛利葉（センター事務局長） 進行：中川玄洋（NPO学生人材バンク代表理事）

主催：NPO法人学生人材バンク

〔協力企画〕電通+NPO広報力向上委員会『伝えるコツ』セミナー

平成30年12月22日（土）パレット鳥取市民交流ホール（鳥取市） 参加22名

講師：伊藤公一（株式会社電通エグゼグティブ・クリエイティブ・ディレクター）

主催：NPO法人学生人材バンク

イ. とっとりカンパチャリティーの企画及び実施

（ア）プレイベントの開催

①「よなご米子がいな祭り」のキッズバーガーとの連携実施

平成30年7月28日（土）米子市文化ホール広場 がいなバーガー+キッズバーガー

寄付金の使途：米子市内の子育て支援活動

主催：米子がいなバーガー実行委員会

②「倉吉地ビールフェスタ」での実施

平成30年8月25日（土）～26日（日）倉吉未来中心屋外スペース

寄付金の使途：平成30年7月豪雨水害被災地支援

主催：BEER&SAKE in 倉吉実行委員会

協力団体：Sun-in グルメパレード

③「米子高島屋プレミアムフライデー」での実施

平成30年8月31日（金）米子市角盤町周辺エリア

寄付金の使途：米子市内の子育て支援活動

主催：角盤町商店街振興組合（地ビールフェスタ in 米子 係）

④「都会×鳥取“異文化！？”若者交流会 in Tokyo～たつぷりたのしまナイト～」

平成30年9月16日（日）いいねオフィス上野（東京都台東区）

寄付金の使途：中山間の地域づくり活動を行う団体の支援 寄付額 各1千円（計2千円）

寄付先：NPO法人こうふのたより（江府町）、多里まちづくり推進協議会（日南町）

主催：「来んさいな住んでみないやとっとり」県民会議

協力団体：Tottori Amazing Friends

寄贈式：平成30年10月6日（土）NPO法人こうふのたより事務所

（イ）とっとりカンパチャリティー企画

・登録団体募集 1次〆切 平成30年10月19日（金） 応募12団体

実施12店舗 寄贈先7団体 寄付総額108,410円

【東部】 5店舗 寄付先3団体

・梅乃井〔鳥取市元魚町〕、日本料理Chikuma〔鳥取市本町〕、板前亭ちくま〔鳥取市叶〕

寄付先：とっとり子ども未来サポートネットワーク（鳥取市） 寄付額 12,600円

・北海道居酒屋 北の大地〔鳥取市今町〕

寄付先：きりんのまち愛プロジェクト（鳥取市） 寄付額 26,780円

・鳥取の地酒と魚 てんまり〔鳥取市栄町〕

寄付先：Tottori Mama's（鳥取市） 寄付額 12,000円

【中部】 3店舗 寄付先2団体

・倉吉・大人の癒し系 ワインバルEl Agua Azul〔倉吉市上井町〕

寄付先：こども食堂とみんなの居場所ほっとここ（倉吉市） 寄付額 10,000円

・旬門倉吉店 [倉吉市山根]、旅館大橋 [三朝町]

寄付先：NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市） 寄付額 6,170円

【西部】 4店舗 寄付先2団体

・旬門米子店 [米子市明治町]

寄付先：NPO法人発達障がい児親の会CHERRY（米子市） 寄付額 10,650円

・魚ろばた海座 [米子市角盤町]、海の声 [米子市角盤町]、カフェ・ド・スズキ米子市公会堂店 [米子市角盤町]

寄付先：NPO法人保育サポータークローバーキッズ（米子市） 寄付額 20,090円

・[広報] 平成30年12月8日（土）BSS（山陰放送）「マルっととっとり」

出演：岡田剛（有限会社松有 旬門倉吉店店長）、上山梓（センター事務局員）

ウ. 寄贈仲介のプログラム

（ア）第5回とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム

認定NPO法人イーパーツ（東京都）との協働事業

協力：鳥取県社会福祉協議会、鳥取市ボランティア・市民活動センター

倉吉市社会福祉協議会、米子市社会福祉協議会

・募集期間 平成30年5月10日（木）～7月13日（金）

審査会 平成30年8月3日（金）COTOMEYA [ことめや]（鳥取市）

応募24団体（リユースPC38台、モニター3台） 採択17団体（リユースPC26台、モニター3台）

【東部】 10団体14台 ※モニター2団体3台

NPO法人グリーンツーリズムもちがせ（鳥取市）1台

NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん（鳥取市）3台

NPO法人学生人材バンク（鳥取市）1台、五しの里地域協議会（鳥取市）1台

当事者と支援者の組織言語障がい自助グループひばり会（鳥取市）1台

浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会（鳥取市）2台+モニター1台

NPO法人万葉ふるさと国府創生会（鳥取市）1台

認定NPO法人ハーモニカレッジ（八頭町）1台+モニター2台

NPO法人若桜・こらぼ企画（若桜町）2台

NPO法人リカバリーポイント 鳥取ダルク（岩美町）1台

【中部】 2団体2台

仕舞と謡曲を楽しむ会（倉吉市）1台、（一社）東伯青年会議所（琴浦町）1台

【西部】 5団体10台

NPO法人地域活動支援センターあおぞら（米子市）1台、NPO法人ライブ（米子市）2台

NPO法人境港スィミングスクール（境港市）3台

（一社）手間山の里（南部町）1台、NPO法人こうふのたより（江府町）3台

・寄贈式

（2会場共通）情報セキュリティ講座、セキュリティー双六

講師：会田和弘（認定NPO法人イーパーツ常務理事）

【東部】 平成30年8月18日（土）とりぎん文化会館会議室（鳥取市） 参加11団体15名

【西部】 平成30年8月19日（日）ヴィレステひえづ会議室（日吉津村） 参加6団体8名

（イ）[協力企画] 株式会社大塚商会協賛企画「たのくんからの贈り物」の試行

・商品として扱えなくなった事務用品等をNPO等に寄贈する提案を、株式会社大塚商会より受け、申請にもとづき来所により持ち帰ることを条件に、県内のNPO等に対して寄贈仲介を行った。

認定NPO法人イーパーツとの連携事業

募集期間：平成30年7月23日（月）～平成31年3月31日（日）

寄贈先団体：12団体

【東部】2団体

とっとり子ども未来サポートネットワーク（鳥取市）、とっとり震災支援連絡協議会（鳥取市）

【中部】7団体

NPO法人あかね（倉吉市）、NPO法人トマトの会（倉吉市）、NPO法人創造（倉吉市）

NPO法人四つ葉（倉吉市）、NPO法人かがやきプロジェクト（倉吉市）

NPO法人里山地域研究会（三朝町）、センター「震災復興活動支援センター」（倉吉市）

【西部】3団体

NPO法人海（米子市）、NPO法人大地（日吉津村）、NPO法人きらめき（大山町）

（ウ）【協力企画】明治ホールディングス株式会社「株主優待品」の福祉団体等への寄贈

- ・明治ホールディングス株式会社の株式を100株以上保有されている株主への優待品を、株主自身の選択により福祉団体等へ寄贈するしくみで、東日本大震災の避難者や障がいのある子どもたち、貧困問題に取り組むNPO等に対して、クリスマス時期にお菓子の寄贈仲介を行った。

認定NPO法人日本NPOセンターとの連携事業

- ・寄贈先団体 4団体

【東部】2団体

とっとり震災支援連絡協議会（鳥取市）「東日本大震災広域避難の子ども達への支援」

とっとり子ども未来サポートネットワーク（鳥取市）「子どもの貧困問題の取組への支援」

【西部】2団体

NPO法人YSSだいせん（大山町）「障がいのある子ども達への支援」

NPO法人いるか（米子市）「障がいのある子ども達への支援」

（エ）【協力企画】鳥取県生活協同組合「フードドライブ」事業による寄贈

- ・鳥取県生活協同組合と寄贈仲介に係る合意書を交わし、「フードドライブ」事業の広報協力とともに、NPO等へのお菓子の寄贈仲介を行った。

- ・寄贈品：CO-OPブランドを使った「クリームビスケット」

- ・寄贈先団体：3団体（児童養護施設）

【東部】青谷こども学園（鳥取市）、【中部】因伯子供学園（倉吉市）、【西部】光徳子供学園（大山町）

エ. みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境「SAVE JAPANプロジェクト」【助成事業】

「オオサンショウウオ夜間観察会」の開催

- ・認定NPO法人日本NPOセンター、損保ジャパン日本興亜株式会社、大山オオサンショウウオの会との協働事業。地域住民が希少生物や豊かな自然に接することによって環境保全活動に参加するきっかけを提供するとともに、実施団体を伴走支援することにより、組織基盤強化に結びつけるプロジェクトとして実施した。

- ・助成申請により採択 会場：大山圏域河川（名和川）

第1回 平成30年8月24日（金）台風のため中止

第2回 平成30年9月7日（金）荒天のため中止

第3回 平成30年9月15日（土）参加5名 ※屋内での「オオサンショウウオ」の講義のみ開催

オ. 中国ろうきんNPO助成・寄付事業

（ア）中国ろうきんNPO寄付システム「西日本豪雨災害緊急配分」

中国地方で平成30年7月豪雨災害の支援活動を行うNPO法人を対象に募集を行った。

- ・募集期間 平成30年7月13日（金）～7月31日（火）

配分金額 5万円以内（設立1年以上のNPO法人、「災害救援分野」の寄付金を充当）
応募なし

（イ）中国ろうきんNPO寄付システム

中国労働金庫の口座開設者によるNPO法人の各活動分野への寄付（1ヶ月1000円）の金額に応じて分野・団体数を設定し配分

・募集期間 平成30年12月14日（金）～平成31年1月18日（金）

配分金額 一律5万円（設立1年以上のNPO法人）

審査会 （書面）平成31年2月5日（火）

応募12団体 採択12団体

【東部】4団体

NPO法人鳥取社会生活サポートセンター（鳥取市）、NPO法人Cheerful鳥取（鳥取市）

NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん（鳥取市）

NPO法人岩美障がい児者親の会びゅあふれんず（岩美町）

【中部】4団体

NPO法人かほくスポーツクラブ（倉吉市）、NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市）

NPO法人里山地域研究会（三朝町）、NPO法人花本美雄文化振興会（琴浦町）

【西部】4団体

NPO法人山陰福祉の会（米子市）、NPO法人米子ボート協会（米子市）

NPO法人コミュニティネット山陰（米子市）、NPO法人大地（日吉津村）

（ウ）授与式、寄付者への報告、広報協力

・授与式 平成31年3月4日（月）中国労働金庫鳥取県営業本部 参加7団体8名

中国労働金庫米子支店 参加5団体5名

・寄付者（中国労働金庫及び寄付者297名）への報告書の作成、郵送 7月13日（金）

・中国労働金庫がシニア向けに発行する情報誌「さんぽみち」に掲載するNPO等を取材し、原稿を作成
[鳥取県の掲載団体] NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市）

カ. ごうぎん地域おこし型私募債寄贈

山陰合同銀行との協働事業

・登録団体数 10団体

・寄付金贈呈式（寄贈企業及び山陰合同銀行よりセンターへ）

第4回 平成30年11月27日（火）県民ふれあい会館研修室

発行企業 中央建設株式会社（島根県出雲市）～寄贈先団体（子育て、社会教育の推進分野を希望）

・寄付金贈呈式（センターより寄贈先団体へ）

第1回 平成30年7月17日（火）エキパル倉吉多目的ホール

①パーソンサポートとっとり（鳥取市）

寄贈額20万円 寄贈元：株式会社鳥取メカシステム（鳥取市）

②NPO法人きらめき（大山町）

寄贈額10万円 寄贈元：淀江木材工業株式会社（米子市）

③ほっとここ実行委員会（倉吉市）

寄贈額14万円 寄贈元：三和段ボール工業株式会社（倉吉市）

④NPO法人桔梗会（鳥取市）

寄贈額30万円 寄贈元：株式会社エヌ・シー（鳥取市）

第2回 平成30年度11月27日（火）県民ふれあい会館研修室

⑤とっとり子ども未来サポートネットワーク（鳥取市）

寄贈額20万円 寄贈元：中央建設株式会社（島根県出雲市）

キ. あいおいニッセイ同和損保助成プログラム

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の役職員が行う一口100円からの寄付金及び会社からのマッチングギフト「MS&ADゆにぞんスマイルクラブ」を助成

・募集期間 平成30年12月14日（金）～平成31年1月18日（金）

配分金額 一律5万円（法人格の有無は問わない）

審査会 （書面）平成31年2月8日（金）

応募24団体 採択6団体

【東部】3団体

シュールビルの会（鳥取市）、冒険あそび場IWAMI（岩美町）

ガールスカウト鳥取県連盟（鳥取市）

【中部】2団体

かめの泉（倉吉市）、朗読ボランティアこだま会（倉吉市）

【西部】1団体

子どもの人権広場（米子市）

寄付金贈呈式 平成31年2月26日（水）県民ふれあい会館研修室 参加6団体7名

（6）クラウドファンディング支援事業

○クラウドファンディングサイト「FAAVO鳥取」の運営を地域オーナーとして行うとともに、活動団体に対して広くクラウドファンディングの活用に関するノウハウ提供を行った。

ア. 「FAAVO鳥取」の運営体制

・平成30年6月に運営会社が株式会社サーチフィールドから株式会社CAMPFIREに移行したため、新たに契約を取り交わす等の事務を行った。

・パートナー協定締結

鳥取県、株式会社新日本海新聞社、鳥取市、倉吉市、株式会社鳥取銀行

イ. 実施プロジェクト

・実施件数6 成立件数6

調達総額3,614,500円

その他相談案件 7件

（ア）cocoto+

テーマ：女性のスキルを活かして、家族や子育て世代がもっと楽しめるお店を作りたい

起案者：藤田芳美（八頭町）

募集期間：平成30年4月24日（火）午前10時～5月31日（木）午後11時59分

達成金額：108万2千円（目標：100万円 [108%]） 支援者数127名

（イ）鳥取食べる通信

テーマ：生産者と消費者を繋ぐ、食べもの付き情報誌「鳥取食べる通信」を創刊したい！

起案者：鳥取食べる通信 代表 幸田伸一（鳥取市）

募集期間：平成30年5月31日（木）午前12時～7月4日（水）午後11時59分

達成金額：63万6千円（目標：50万円 [127%]） 支援者数83名

(ウ) 純国産きくらげを家庭の食卓にプロジェクト

テーマ：有名店でも使われる、国内に3%だけの「純国産きくらげ」を全国に広めたい！

起案者：株式会社ダブルノット 高林努（米子市）

募集期間：平成30年6月25日（月）午前10時～7月20日（金）午後11時59分

達成金額：85万円（目標：50万円 [170%]） 支援者数220名

(エ) スープ本制作

テーマ：スープ研究家・東條真千子「親子スープ教室のレシピ本」制作プロジェクト

起案者：東條真千子（鳥取市）

期間：平成30年9月1日（土）午前9時～11月19日（月）午後11時59分

達成金額：10万2千円（目標：150万円 [6%]）（ALL in） 支援者数10名

(オ) ジビエ缶詰

テーマ：鳥取の最高級鹿肉を美味し〜い缶詰めに！6332万円の害獣が日本一の食肉へ

起案者：鳥取の最高級鹿肉を缶詰に！プロジェクト 木下陽平（鳥取市）

期間：平成30年9月20日（木）午前9時～10月31日（水）午後11時59分

達成金額：56万7,500円（目標：50万円 [113%]） 支援者数56名

(カ) ワカメフェス

テーマ：山陰の秘密の食材「板ワカメ」の魅力を伝える「ワカメフェス」を開催したい

起案者：ワカメ部 則定希（岩美町）

期間：平成31年2月13日（水）午前9時～3月31日（日）午後11時59分

達成金額：37万7千円（目標：30万円 [125%]） 支援者数：56名

5 相談対応・情報発信事業

(1) とっとり創生支援センター事業

○東部・西部に支部を設置し、東・中・西部の振興課と協働して、圏域内の相談対応、団体間のネットワーク構築支援を行った。

ア. 支援センターの設置

- ・東・中・西部地区に支援センターを各地区1ヶ所、計3ヶ所に設置し、各支援センターに担当者を置いた。
東部とっとり創生支援センター 県元気づくり総本部東部振興監東部振興課内（県東部庁舎）担当：寺坂純子
中部とっとり創生支援センター 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター内 担当：谷 祐基
西部とっとり創生支援センター 県西部総合事務所地域振興局西部振興課内 担当：椿 善裕

イ. 窓口及び出張による相談対応

- ・相談対応 延べ209件実施（東部103件、中部40件、西部50件。県外7件）

ウ. 定期協議

東・中・西部、各12回（月1回程度）

参加：各地区の担当者（センター、県の各振興課・中山間地域振興等）とセンター事務局長、県参画協働課

(2) 相談対応・出前相談事業

○幅広くボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動、地方創生等に関する個人又は団体からの相談に対応した。また、震災復興・防災力強化に関する相談は、震災復興活動支援センター事業として対応した。

ア. 相談窓口における相談対応

(ア) 相談対応

- ・相談件数：278件（東部105件、中部72件、西部104件、隣接県3件、他県外2件 ※重複あり）
他、震災復興・防災力強化 78件（東部18件、中部47件、西部13件）
- ・相談対応の傾向（「震災復興・防災力強化」を除く）
対象：①団体…86% ②個人…8% ③団体準備中…3% ④その他…3%
方法：①訪問…30% ②電話…29% ③来所…27% ④その他…10% ⑤メール…4%
趣旨：①相談…88% ②問合せ…7% ③その他…3% ④提案要望…2%
分野：①まちづくり…25% ②障がい者支援…10% ③中山間地域支援…9% ④地域安全…6%
⑤高齢者支援・子どもの健全育成…6% ⑦観光振興…5% ⑧学術スポーツ文化芸術…5%
⑨経済活動産業振興…5% ⑩子育て支援…4%
内容：①組織運営…15% ②情報収集…15% ③法人設立…8%
③団体及びプロジェクト立上げ…8% ⑤助成金情報…8%
⑥会計事務…7% ⑦資金調達…7%

※解散法人からの残余財産の寄付受入 NPO法人遠足計画（鳥取市） 83,222円

(イ) 伴走支援

- ・センターの支援プログラムを活用しながら、NPO法人、地域のボランティア団体、地域運営組織等にセンター職員が伴走して支援を行った。
12団体（東部5団体、中部3団体、西部4団体）
＜主な伴走支援内容＞
法人化・法人選択、法人運営・ガバナンス、事業計画作成、資金調達、マーケティング・販路開拓
CSR、エリアマネジメント、空き家活用により事業立上げ、地域・学校との連携強化
住民主体の地域づくり、小さな拠点推進、地域組織の課題解決の取り組みでの連携
[協力（後援）企画] まちネット川プロジェクト「民家活用フォーラム」
平成31年3月24日（日）金平邸茅葺民家 主催：琴浦まちづくりネットワーク

イ. 出前相談

- ・センターが行う研修事業、専門家派遣事業、「とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク」（日本政策金融公庫鳥取支店・米子支店、鳥取県行政書士会、鳥取県中小企業診断士会及びセンターで構成）のネットワークを活かして、NPO等が集まる講座等、機会をとらえて「出前相談会」を実施した。
- ・出前相談 33件
平成30年4月23日（月）県東部庁舎会議室〔NPO事務説明会〕7件
平成30年4月24日（火）県西部総合事務所会議室〔NPO事務説明会〕3件
平成30年4月25日（水）県中部総合事務所会議室〔NPO事務説明会〕2件
平成31年3月 2日（土）米子市淀江文化センター〔とっとり元気フェス、専門家派遣〕7件
平成31年3月 5日（火）県中部総合事務所会議室〔NPO法人事務説明会〕2件
平成31年3月 6日（水）県中部総合事務所講堂〔助成金合同説明会〕2件
県庁講堂〔NPO法人事務説明会〕1件
県庁講堂〔助成金合同説明会〕2件
平成31年3月 7日（木）県西部総合事務所講堂（助成金合同説明会）4件
県西部総合事務所会議室（NPO法人事務説明会）3件

(3) 情報集積・発信事業

○情報誌、機関紙を定期的に発行するとともに、県民活動活性化に資する県内外の情報をホームページ、ソーシャルメディア、メルマガ、新聞広告等を活用して、県民、活動団体等に発信した。

ア. 情報誌等の企画・発行

(ア) 情報誌『いまと、これから。』の作成・発行

- ・NPO活動、ボランティア活動、地域づくり活動に関する情報を発信する情報誌を企画し、主に20～30代女性を対象に、地域の課題や活動に関心を持ってもらい、活動への参加を促す視点で作成、発行した。
- ・編集委員会 平成30年9月6日(金) センター事務所 参加7名
- ・配布先：県内NPO法人、地域づくり団体、市町村、図書館、関係者・関係機関に送付(400ヶ所以上)
主に若い女性が集まる場所や、集会施設、県内美容室、書店等に配架。
県外の全国の支援センター等へ送付、主催事業や講師で派遣される講座等で配付。

仕様：A4サイズ、16ページ、カラー印刷

内容：第10号 特集：家族の公式(上) 平成31年1月28日発行 5千部印刷

第11号 特集：家族の公式(下) 平成31年3月25日発行 5千部印刷

(イ) 機関紙「センターつうしん」作成・発行

- ・講座や研修等、本事業の情報を時期に応じて発信する機関紙を企画し、4回発行した。
- ・配布先：NPO法人、地域づくり団体、市町村等に送付(400ヶ所以上)

仕様：A4サイズ、8ページ、モノクロ印刷

内容：第14号 平成30年7月4日発行 第15号 平成30年10月18日発行

第16号 平成31年2月20日発行 第17号 平成31年3月29日発行

(ウ) マンガ冊子の作成・発行【自主事業】

- ・センターの支援活動をマンガで紹介する冊子を作成し、発行した。
- ・タイトル：つながるチカラ～みんなでの「やりたい」をサポートします。～
掲載団体：【東部】認定NPO法人ハーモニカレッジ(八頭町)、Tottori Mama's(鳥取市)
【中部】こども食堂とみんなの居場所ほっとここ(倉吉市)
【西部】NPO法人なんぶ里山デザイン機構(南部町)

配布先：NPO法人、県下19市町村、県内の各図書館・公共施設等

仕様：A5サイズ、20ページ、フルカラー、1万部 制作：株式会社ラ・コミック

(エ) センターや県民活動の認知を広げる広報活動

- ・事業毎にプレスリリースを発行、県政記者クラブへ配架
- ・センターが実施する「補助・助成・マッチング事業」で、センター「てとり」のロゴ等の掲載依頼
- ・取材による放映、記事掲載等

43件 新聞(日本海新聞等の記事掲載)32件、(連載「復興のたね」)7件

誌面掲載2件、放映(山陰放送「寄付つき商品等」、NHK「生活復興支援」)2件

- ・広告費を活用した新聞広告の掲載 平成30年9月8日(土)付「日本海新聞」

内容：相談対応、専門家派遣、プロボノ、お買い物チャリティー、カンパチャリティー等

イ. ウェブサイト等による情報提供

- ・若者向けに地域づくり活動の情報を紹介するページ、企業にむけて、NPO等の活動を紹介し、社会貢献活動を促すためのページを追加するなど、株式会社ジャプロに委託し、センターウェブサイトの一部を改修
- ・県民活動に関する情報をウェブサイトで月2回以上、年間24回以上更新

- ・県が管理運用する「トットリズムサイト」における、イベント、研修・講座、寄付募集、ボランティア、助成金、メール配信リストに関する情報の追加、編集、削除等を、月2回以上年間24回以上実施
- ・県が提供する「トットリズムサイト」のメール配信機能により、月2回年間24回配信
- ・とっとりの元気づくり会議メーリングリストを通じて、とっとりの元気づくりプロジェクトチームの活動等を、月1回以上年間16回配信

6 震災復興活動支援センター事業

(1) 震災復興活動支援センター事業

○鳥取県中部地震からの復興に向けた住民活動、民間活動を支援し、地域の元気づくり活動やコミュニティと「絆」を強化し、県中部地域を中心とする県全域で「震災前より安心、安全で元気な地域」を目指した。

平成30年度は、住民や地域、民間組織が取り組む地域防災力強化のための活動を支援する「地域防災力強化事業」（2年目）と、鳥取県中部地震復興本部事務局との連携（共同事務局）で、鳥取県中部地震で被災した世帯の生活復興支援を行う「生活復興支援事業」の2事業に取り組んだ。

ア. 地域防災力強化事業績

<実績>

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| ① 相談対応 | 78件（※本事業と生活復興支援事業の双方を含む） |
| ② 講師の派遣 | 28件 |
| ③ 伴走支援 | 9団体（地域）※ 子どもと女性がテーマの活動4団体を含む |
| ④ 「中部地震復興フォーラム」の開催 | 1回（平成30年10月21日） |
| ⑤ 「支え愛マップ」 | 7集落（4市町村/参加者299人） |

<内容>

- ① 相談対応 78件（東部18件、中部47件、西部13件）

NPO法人、ボランティア団体、地域づくり団体、公益法人、社会福祉法人、地縁組織等の民間組織や企業、今後新たに活動をしようとする団体（NPO等）からの地域防災や復興支援の活動、又は地域づくり活動に関する相談（例：自治会や自主防災組織などの地縁組織での地域防災の取組に関する相談）に対応した。

- ② 講師の派遣 28件（内訳：講師19件、パネリスト2件、進行役1件、その他6件）

<主な派遣実績>

- ・講師派遣「地域防災の取り組みについて」
平成30年7月1日（日）倉吉市上灘地区自治公民役員研修会
- ・講師派遣、図上訓練
平成30年9月26日（水）米子東病院（社会医療法人仁厚会、社会福祉法人敬仁会）
- ・講師派遣、運営支援
平成30年9月29日（土）倉吉市上北条地区（上北条小学校）「宿泊型避難所訓練」
- ・進行役「女性のチカラで地域防災力アップ」 主催：鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク
平成31年3月9日（土）新日本海新聞社中部本社 ※センター〔協力（後援）企画〕
- ・講師派遣 主催：岩美町中央公民館
平成31年3月18日（月）岩美町「町民カレッジ」地域づくりセミナー防災学習

- ③ 伴走支援

NPO等からの地域防災活動や復興支援活動、地域づくり等に関する相談や提案を受けて、方向性の模索や活動の進め方などについて継続的に伴走支援しながら、それらの活動を支えた。

9団体（地域）（A. 地域地区、B. テーマ、C. 参加人数規模、D. 伴走支援実績日数）

- ・米子市 尚徳地区（小学校区）「地区全体で取り組む活動」「支え愛マップ」 約85名／10日間
- ・鳥取市 千代水地区（小学校区）「宿泊型避難所訓練」以降の防災活動 約30名／5日間
- ・倉吉市 上北条地区（小学校区）「宿泊型避難所訓練」の企画と実施 約130名／12日間

- ・大山町 御来屋地区（小学校区）「支え合いのまち御来屋」の地域防災活動 約55名／9日間
- ・Tottori Mama's「家庭で取り組める『我が家の防災』」（女性と子ども）約40名／3日間
- ・森のようちえん風りん「災害時の避難行動と野外救急」（子ども支援）約20名／4日間
- ・冒険あそび場IWAMI（子ども支援）約45名／4日間
- ・米子東病院（仁厚会、敬仁会グループ）「水害時避難シミュレーション」 約10名／3日間
- ・復興支援隊「緑」運営支援と現場作業確認（安全対策の確認等） 約10名／20日間

④「中部地震復興フォーラム」の開催と「復興祭」実施支援

鳥取県中部地震をきっかけとして、県民に地震に関する正しい認識を持ってもらうこと、また、中部地震を契機に県中部で取り組んでいる「災害ケースマネジメント」（「鳥取県中部地震生活復興支援事業」）について、復興支援隊「緑」（ボランティア団体）も交えて議論を深め県内外に発信した。

「支え愛マップ」を通じた地域内の共助の取り組みを県民に理解してもらうことを目的に開催した。

I.「中部地震復興フォーラム」の開催

平成31年10月21日（日）倉吉交流プラザ 参加約80名

講演「山陰地方のひずみ集中帯について」西村卓也（京都大学防災研究所地震予知研究センター准教授）

「知っておきたい地震の揺れのしくみ」香川敬生（鳥取大学大学院工学研究科教授）

対談「山陰地方の地震—どう備える—」西村卓也准教授、香川敬生教授

パネルディスカッション「災害ケースマネジメントと生活復興支援の状況」

座長：菅野拓（人と防災未来センター主任研究員）

パネリスト：中原浩二（北栄町福祉課生活支援室室長）、明里修平（復興支援隊「緑」）

小谷太喜（大田市社会福祉協議会地域福祉課主事）、毛利葉（センター事務局長）

II.「第2回 鳥取中部復興祭」の実施支援

県中部地域の団体や行政、NPO等が連携して開催する復興イベント「第2回中部復興祭」に実行委員会メンバーとして参画し実施の支援に務めた。

- ・実行委員会（第1回：平成30年4月24日（火）～第9回：平成30年10月11日（木））への参加
- ・「第2回 鳥取中部復興祭」平成30年10月21日（日）倉吉線鉄道記念館 参加約1万名
- ・担当業務：会場の設営、ゆるキャラ®（7体）の運用、「防災〇×クイズ」（約50名参加）の実施
「復興メッセージ」参加型ワークショップによる手形スタンプと署名。

⑤ その他（復興ボランティアネットワークの形成支援、広報活動 等）

I.「復興ボランティアネットワークの形成支援」

県下での災害に強い地域づくりのため、また、鳥取県中部地震の復興支援活動に携わる各種組織、団体間での連携を進めるための「復興ボランティアネットワーク」の形成のために以下の会議やネットワークに参加しながら、連携の促進を行った。

- ・「第3回 災害時の連携を考える全国フォーラム」（主催：JVOAD）
平成30年6月12日（火）～13日（水）
- ・「災害ボランティア活動関係機関連絡会」（主管：鳥取県社会福祉協議会）
第1回 平成30年8月9日（木） 第2回 平成30年10月11日（木）
第3回 平成31年3月11日（月）
- ・県内の災害時支援組織間での「災害時相互協力協定」締結（調印式）平成30年12月26日（水）
参加組織：鳥取県、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県生活協同組合、日野ボランティア・ネットワーク（公社）日本青年会議所鳥取ブロック協議会、センター
- ・県災害時福祉支援チーム「DCAT」の仕組みづくりと人材育成研修への協力と参加
派遣メンバー研修会 平成30年11月24日（土）
コーディネーター研修会 平成31年1月12日（土）
- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）
「西日本豪雨災害検証会議」平成31年3月5日（火）

Ⅱ. 広報活動

多くの県民に地域防災や地域内での「支えあい」の重要性を再認識して頂くために、支援センターの地域防災力強化事業や県中部地震生活復興支援事業で関わりのある地域での取組やNPO、ボランティア団体による住民参加型の活動に関する情報発信を行った。

- ・「復興のたね」日本海新聞地域版「ワイド鳥取」（第8稿～第14稿「復興とは何か？」）掲載完了
- ・NHK鳥取「いろ★ドリ」（情報番組）「シリーズ“中部地震”から2年」（平成30年10月12日放送）

Ⅲ. 「復興支援『鳥取県モデル』の探求」

県外被災地への人的支援と関わりを通じて『鳥取県版』の復興支援手法を研究した。

- ・「島根県西部地震」大田市社会福祉協議会「災害ボランティアセンター」運営支援 計2日間（1名）
- ・「大阪北部地震」茨木市社会福祉協議会「災害ボランティアセンター」（ボランティアバス運行）計2日間（1名）※豪雨接近のため活動中止（大阪府大阪市阿倍野区の防災センター見学）
- ・「西日本豪雨災害」智頭町社会福祉協議会「災害ボランティアセンター」開設支援 計3日間（2名）
- ・「西日本豪雨災害」広島市南区社会福祉協議会「災害ボランティアセンター」運営支援 計4日間（1名）
- ・「西日本豪雨災害」倉敷市社会福祉協議会「災害ボランティアセンター」開設・運営支援 計46日間（3名）

Ⅳ. 生活復興支援事業

<実績>

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| ① 実態調査 | 481世帯（調査対象世帯） |
| ② 生活復興プランの作成 | 58件（世帯） |
| ③ 生活復興支援チーム（専門家等）の派遣 | 65件（世帯） |
| ④ 進行管理 | 概ね毎週1回実施 |
| ⑤ 災害に強い地域づくりの推進 | 「中部地震復興フォーラム」開催、「復興祭」実施支援（各1回） |

<内容>

生活復興支援事業実施のために事業担当職員1名に加えて、非常勤職員1名を配置）

① 実態調査（調査対象481世帯）

平成29年度中に、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町が行った①住宅未修繕世帯及び②再建支援補助金未申請世帯等を対象とした戸別訪問等による実態調査の結果、「継続支援が必要な可能性がある」と判断した481世帯を調査対象として「2次調査」（再調査）を行った。

- ・倉吉市 戸別訪問、聞き取り調査 計6日間 平成30年7月9日（月）～平成31年2月27日（水）
- ・三朝町 戸別訪問 聞き取り調査 計5日間 平成30年5月18日（金）～11月30日（金）
- ・湯梨浜町 戸別訪問 聞き取り調査 計2日間 平成30年5月24日（木）、平成30年12月4日（火）
- ・中部地震被災者（公営住宅入居者）に係る意向確認調査
計3日間 平成30年6月20日（水）～25日（月）

② 生活復興プランの作成 58件

実態調査実施後、「災害ケースマネジメント」の考え方と手法に基づいて検討し、今後も継続的な支援が必要と判断された被災世帯について、世帯ごとの生活状況や生活復興に向けた支援方法を「生活復興プラン」としてまとめた。（※「生活復興プラン」はセンター独自判断で作成）

- ・自治体別作成数：倉吉市27件、三朝町8件、湯梨浜町9件、北栄町13件、琴浦町1件
うち「支援が完了済み」の被災世帯：計30世帯
内訳：倉吉市14件、三朝町4件、湯梨浜町5件、北栄町7件、琴浦町0件
うち「支援継続中」の被災世帯：計28世帯
内訳：倉吉市13件、三朝町4件、湯梨浜町4件、北栄町6件、琴浦町1件
- ・生活復興支援会議（「災害ケースマネジメント会議」）の実施 年間計：12回
内訳：倉吉市0回、三朝町2回、湯梨浜町4回、北栄町6回、琴浦町0回

③ 生活復興支援チーム（専門家等）の派遣 65件

生活復興プランに基づいて、支援対象の世帯へ専門家等を派遣するために必要な調整を行った。また、生活復興支援チーム派遣後も対象世帯の必要に応じて伴走支援（継続的な相談）を実施した。

支援にあたった主な専門家は、①ファイナンシャル・プランナー、②弁護士、③宅地建物取引業協会相談員、④建築技師（県職員）、⑤福祉専門員（県職員）⑥福祉ケースワーカー（社会福祉協議会職員）⑦専門ボランティア（復興支援隊「縁」／屋根や家屋修繕に関する活動の専門ボランティアグループ）。

支援センターの役割は、各被災世帯の「お困りごと」を把握し、これらの課題や懸念事項の解決に必要な生活復興支援チーム（専門家）による支援や相談、アドバイスを受けていただくための事前の調整を担った。また、必要に応じて、これらの支援者が各世帯を訪問する際に同行し、相談、アドバイス後も各世帯側に不安や不明な点が残っていないかどうか、また支援の方法（生活復興プラン）が適切かどうかを確認した。

・生活復興支援チーム（専門家）の派遣内訳

建築技師26件、復興支援隊「縁」23件、社会福祉協議会職員4件、保健師4件、ファイナンシャル・プランナー2件、宅地建物取引業 相談員2件、弁護士1件、県福祉局職員1件、地域包括支援センター職員1件、「あんしん相談支援センター」職員（社会福祉協議会）1件、民生委員1件

④ 進行管理

生活復興支援事業の取り組み状況の把握と調整のために以下の活動を行った。

・「生活復興支援事業 定例会議（ミーティング）」

内容：中部地震復興本部事務局との情報交換、進捗状況確認のための定期会合

頻度：概ね毎週1回

・「生活復興支援対象世帯リスト」（Excelデータ）の更新（随時更新）

記載世帯数：92世帯（3月末日時点）

・「生活復興プラン」（Word文章）の作成と更新（随時更新）

記載世帯数：58世帯（3月末日時点）

・建設業界団体（組合、協議会等の代表者）との調整活動

（一社）鳥取県中部建設業協会（株）井木組 井木会長 平成31年2月19日（火）

全日本瓦工事業連盟 鳥取県瓦工事業組合（有）モリサキ 清水社長 平成31年2月22日（金）

鳥取県建築連合会（有）池田住研 池田社長 平成31年3月19日（火）

鳥取県左官業協同組合（株）フクタニ 福谷理事長 平成31年3月19日（火）

⑤ 災害に強い地域づくりの推進 「中部地震復興フォーラム」開催、「復興祭」実施支援（各1回）

※詳細は上記、「イ. 地域防災力強化事業 内容」の項目④「中部地震復興フォーラム」の開催と「復興祭」実施支援か所を参照（2つの委託事業間で内容が重複しているため）。

7 その他の事業

（1）その他のNPO等支援事業

ア. 事務所スペースの活用の促進

- ・ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動等の拠点として、事務所の会議スペースの活用を促した。

利用実績 4団体5回

県参画協働課

ブックインとっとり実行委員会

NPO法人こども未来ネットワーク（2回）

日本ファイナンシャルプランナー（FP）協会鳥取支部

イ. 調査研究活動の推進

- ・ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動等県民活動の活性化、持続可能な地域社会づくりに資する調査研究活動を行い、調査結果を公開するとともに、センターの支援事業に活用した。
- ・NPO法人経営実態調査（鳥取大学竹内潔講師及び同研究室の学生と協働実施）

ウ. NPO等の情報開示・組織評価の促進による社会的信用の拡充

- ・県参画協働課「トトリリズムサイト」や日本財団CANPAN等のポータルサイト、(一財) 非営利組織評価センターの第三者組織評価を活用し、NPO等に積極的な情報開示や組織評価を促し、社会的信用の拡充をすすめた。
- ・助成事業等の申請又は登録資格として、情報開示度を5つのランクで表示するCANPANを活用
申請…中国ろうきんNPO寄付・助成事業、あいおいニッセイ同和損保助成プログラム
登録…ごうぎん地域おこし型私募債寄贈事業、お買い物チャリティー、カンパイチャリティー
- ・(一財) 非営利組織評価センターの第三者組織評価の活用を促した。

(2) 県内外へ職員等の講師・委員派遣、会議参加等

ア. 講師等としての参加

- ・行政、地域、大学、NPO等の事業に講師等で参加（震災復興活動支援センターを除く）
16件（内訳：講師13件、パネリスト1件、ファシリテーター1件、その他1件）
島根県NPO活動推進室、県中部振興課、県職員支援課、県情報政策課、県教育委員会「県民カレッジ」
鳥取市ボランティア・市民活動センター、倉吉市地域づくり支援課、認定NPO法人自然再生センター
倉吉市成徳公民館、倉吉市関金公民館、三朝町地域協議会連絡会、湯梨浜町中央公民館、日吉津村総務課
公立環境大学、鳥取大学、SDGsパートナーズ（琴浦）
- ・震災復興活動支援センター〔(1) ア〕に掲載
28件（内訳：講師19件、パネリスト2件、進行役1件、その他6件）

イ. 委員会、審査会等への派遣

- ・県内外の委員会、審査会等の委員、審査員への就任
17件39回
COC+とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議「鳥取大学 地（知）の拠点大学による地方創生推進委員会」委員（1回）
県農地・水保全課「みんなで取り組む農業農村保全活動推進会議」委員（1回）
県参画協働課「トトリリズム推進委員会」委員（6回）
県環境立県推進課「環境フェスタ（仮称）企画運営業務委託プロポーザル審査会」（1回）
県食のみやこ推進課「食のみやこ鳥取県づくり支援交付金審査会」（1回）
県教育・学術振興課「環境学術研究等振興事業評価委員会」委員（1回）
県教育委員会事務局「県民カレッジ講座運営委員会」運営委員（1回）
鳥取県男女共同参画センター運営協議会 委員（2回）
鳥取県社会福祉協議会理事会 理事（3回）
鳥取県社会福祉協議会「鳥取県ボランティア・市民活動センター運営委員会」運営委員（2回）
鳥取県社会福祉協議会「市町村社協ボランティアセンター強化方策検討委員会」委員（3回）
鳥取市社会福祉協議会「鳥取市ボランティア・市民活動センター運営委員会」運営委員（2回）
鳥取市社会福祉協議会鳥取市ボランティア・市民活動センター「市民活動助成金審査会」審査委員（1回）
鳥取市佐治町総合支所「佐治町小さな拠点事業推進委員会」オブザーバー（1回）
とっとり子ども未来サポートネットワーク 理事（10回）
全労済地域貢献助成事業審査委員会（中国四国） 委員（1回）
全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会（2回）
- ・県内外会議等への参加
鳥取創生チーム（拡大・東部・西部）会議、日本財団×鳥取県共同プロジェクト顧問団会議
県及び鳥取県社会福祉協議会が主催する支え愛マップ（支え愛活動）に関する会議

ウ. 全国・中国地方の中間支援組織等との連携、会議等への参加

中国5県中間支援組織連絡協議会の構成団体として、又全国的な中間支援組織への参加を通じて、人材育成、調査活動、寄贈・助成プログラム等の共同事業を広げるとともに、会議や研修等への参加を通して、全国的な情報収集及び支援機関・組織との関係構築を図った。

- ・参加組織（会員、構成団体）

認定NPO法人日本NPOセンター

NPO法人会計基準協議会

全国NPO事務支援カンファレンス

地域づくり団体全国協議会

中国5県中間支援組織連絡協議会

- ・「これからの20年も、社会に貢献できる支援者を目指す人のための踏み込んだ支援と協働に関する合同研修会」の開催 ※岡山市及び人と組織と地球のための国際研究所〔I I H O E〕と共催

平成30年4月20日（金）岡山市勤労者福祉センター（岡山）

- ・NPO法施行20周年記念企画「NPOと災害支援はこの20年で『進化』したのか。これでいいのか。ここまででいいのか。」の開催 ※認定NPO法人日本NPOセンターとの共催

平成30年12月15日（土）岡山市勤労者福祉センター（岡山） ※センター参加1名

- ・中国5県NPO中間支援組織スタッフ研修交流会の現地受入及び企画進行担当

平成31年1月6日（日）県民ふれあい会館研修室（鳥取） 参加23名 ※センター参加7名

- ・県外会議等参加 11件15回

- ・「第3回災害時の連携を考える全国フォーラム（JVOAD：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）分科会「災害時に機能する都道府県域の支援ネットワーク」等及び都道府県におけるネットワーク構築会議（支援P）」（東京）

- ・地域づくり団体都道府県協議会会長及び都道府県地域づくり団体担当課長会議（東京）

- ・小規模多機能自治推進ネットワーク会議〔小規模多機能自治の集い・支援者事例共有会議〕（東京）

- ・全国NPO事務支援カンファレンス（岡山）

- ・中国5県NPO中間支援連絡会議（岡山、広島、鳥取 3回）

- ・認定日本NPOセンター「民間NPO支援センター・将来を考える会（CEO会議）」（東京 2回）

- ・NPO法人会計基準協議会中四国ブロック会議及び所轄庁ブロック会議との意見交換会（徳島）

- ・NPO法人の会計強化のための全国キャンペーン総括フォーラム（東京 1回）

- ・全国コミュニティ財団中国四国ブロック会議（岡山 2回）

- ・岡山NPOセンター20周年記念イベント（岡山）

- ・NPO法制定及びひろしまNPOセンター20周年記念イベント（広島）